

利用案内

開館時間	10:00-19:00 ※12/28、1/2~3は10:00-17:00
休館日	火曜日 ※5/5、8/4・11、9/22、11/3、2/23は開館 5/7、8/5・12、9/24、11/4、2/24、年末年始(12/29~1/1) そのほか施設修繕、メンテナンスなどにより臨時休館とすることがあります。
観覧料	企画展・共催展 展覧会により観覧料が異なります。 コレクションラガ展示 無料

アクセス

至八戸駅	本八戸駅	JR 八戸線	至久慈駅
	公会堂 ■ 八戸市庁 ■ 市庁前 ↑	■ 南部会館	
	商工会館 ■ ばんらぼ ■	■ 青森みちのく銀行 ■ 八戸市美術館 Hachinohe Art Museum	■ 八戸 グランド ホテル
	三日町 はっち ■ ● さくら野 ■	八日町 ●	国道340号
横み 丁う く	■ マチニワ ■ 八戸ブック ■ センター	● 中央通り	
	● 六日町		

バスで20分 八戸駅東口前バス乗り場1番から中心街方面
乗車、中心街ターミナル(八日町または中央通り)下車



飛行機で | 三沢空港から空港連絡バスで約55分 八戸八日町下車

お車で | 八戸自動車道八戸ICより中心市街地方面へ約15分

一般来館者用の駐車場はございません。周辺の駐車場をご利用ください。

デザイン | LABORATORIES 表紙(上) | 日比野克彦《オートバイ》1984 撮影 | 加藤健
表紙(下) | 「SEXOB 2025」制作の様子 撮影 | 仲田絵美 写真提供(上下) | 水戸芸術館現代美術センター

〒031-0031 青森県八戸市大字番町10-4

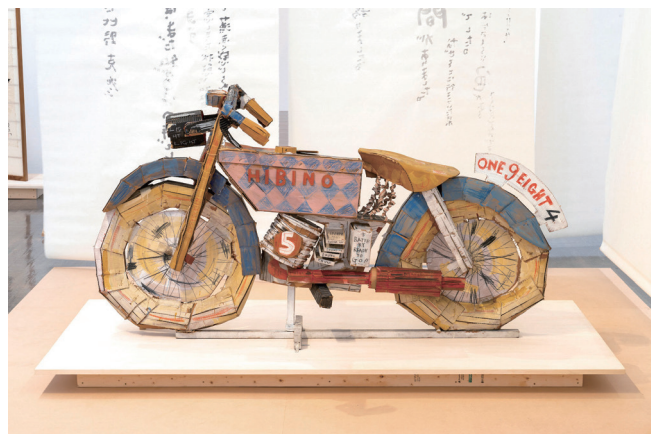
TEL | 0178-45-8338 FAX | 0178-24-4531

公式ホームページ | <https://hachinohe-art-museum.jp>



八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

八戸市美術館 Hachinohe Art Museum 2026.4-2027.3



年間スケジュール

EXHIBITION SCHEDULE

企画展 2026.4.18[土]ー9.23[水・祝]

八戸市美術館開館5周年記念

日比野克彦 ひとり橋の上に立って から、だれかと舟で繰り出すまで

アーティスト・日比野克彦の60年以上にわたる創作と実践を振り返る展覧会。あわせて、日比野の作品をアートファーマーと共に開梱し、公開調査する「KAIKONプロジェクト」も行います。

《私が初めて立ち止まったのは當場の橋の上でした》2002。《on the bridge》(一部)2002/2025
撮影：加藤健 写真提供：水戸芸術館現代美術センター



コレクションラボ展示

- 013 ここにある理由 新収蔵作品展 2026.3.28 [土]ー7.20 [月・祝]
- 014 岡山良一 八戸モダンの風 2026.7.25 [土]ー11.16 [月]
- 015 馬カケル 2026.11.21 [土]-2027.2.21 [日]

第63回 八戸市美術展

前期 | 2026.10.8[木] - 10.11[日] 書道・第39回八戸市学生書道展

後期 | 2026.10.15[木] - 10.18[日] 絵画・写真・第49回生活文化展

主催 | 八戸市文化協会 共催 | 八戸市美術館 観覧料 | 無料

2026.4-2027.3 2026 4 5 6 7 8 9 10 11 12 2027 1 2 3

企画展 日比野克彦 ひとり橋の上に立ってから、だれかと舟で繰り出すまで ヨシタケシンスケ展 かもしれない 昆野清一 遡源画卷 かなしみの河を遡る

コレクションラボ展示 013 ここにある理由 新収蔵作品展 014 岡山良一 八戸モダンの風 015 馬カケル

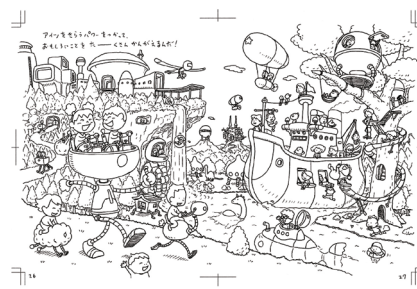
企画展 2026.11.21[土]ー2027.1.11[月・祝]

八戸市美術館開館5周年・青森朝日放送開局35周年記念事業

ヨシタケシンスケ展 かもしれない

子どもから大人まで大ブームを巻き起こしている絵本作家・ヨシタケシンスケ初の大規模展覧会。作品の発想の源である小さなスケッチや絵本原画、本展のためにヨシタケシンスケが考案した立体物や愛蔵のコレクションなどを展示します。

左 | 展覧会メインビジュアル
右 | 『ころばいいのい』原画
©Shinsuke Yoshitake



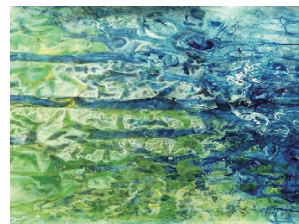
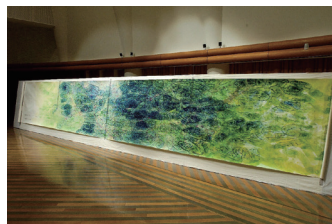
企画展 2027.1.30[土]ー2.21[日]

八戸市美術館開館5周年記念

昆野清一 遡源画卷 かなしみの河を遡る

沈黙の画家と呼ばれた八戸の作家・昆野清一(1921~2005)。戦争で負った深い悲しみと罪の意識に向き合って描き続けた、36巻・総長360mの大作《遡源画卷》などを展示します。

左 | 《遡源画卷》第1巻
右 | 《遡源画卷》第2巻(部分)



2026.4-2027.3 2026 4 5 6 7 8 9 10 11 12 2027 1 2 3

企画展 日比野克彦 ひとり橋の上に立ってから、だれかと舟で繰り出すまで ヨシタケシンスケ展 かもしれない 昆野清一 遡源画卷 かなしみの河を遡る

コレクションラボ展示 013 ここにある理由 新収蔵作品展 014 岡山良一 八戸モダンの風 015 馬カケル